

2017.03.21

レフェリーレポート

高橋 由美

【参加大会】

2017.03.10～2017.03.12

第 25 回西日本私立高等学校女子ハンドボール競技大会

参加チーム数：16 チーム

2017.03.11（土）

西南学院・佐賀女子(小坂先生)

大分高校・筑紫女学園(藤田先生)

マリスト学園・佐賀清和(黒木先生)

明光学園・山陽学園(島村先生)

2017.03.12（日）

大分高校・広島桜が丘(島村先生)

高水・城北(島村先生)

【レポート】

今回、大分県から一人で参加させて頂き、他県の審判員と吹かせて頂きました。

その中で初日は、領域分担・役割分担や基準の引き方等、明確でない部分がありました。

しかし、原因は日頃の自分のレフェリングにあると思えました。

ハードプレーとラフプレーの見極めに対して、ゲームの序盤からもっと厳しくはっきりと基準を示したいと思えます。その中でも、ラフプレーに対しては、警告、退場、失格全ての可能性を準備して、状況と現象から判断しなければいけないと思えます。

また、グレーな部分に関しては、デフェンスとオフenseどちらが勝っているかという状況を見極めながら、1試合を通して基準を作らなければならないと思えました。

また、1会場にコートが2面ある大きな会場で行い、笛の大きさはいつも意識していましたが、小さいとご指摘を頂きました。

【他の審判員を見て】

他の審判員のレフェリングを見て感じた事は、上級審判員は即席のペアであっても、落ち着きがあり、判定に対して説得力のある位置取りや所作、笛の強弱短長がしっかりされて

いました。

【今後の課題】

- ・判定に対して説得力のある位置取りや所作を常に意識する
(ジェスチャーはきれいにはっきりと大きく見易くする、笛の強弱短長、タイミング)
- ・常にコートから目を切らないようにする (特にターンオーバーの時)
- ・ゲームの序盤からハードプレーとラフプレーの基準をはっきり示す
- ・ラフプレーに関して「警告、退場、失格」を状況と現象から判断する
- ・グレーな部分に関して、デフェンスとオフェンスどちらが勝っているか状況をみて基準を作る (ハンドボール感性、ゲーム予測)

日頃からご指導を受けている、所作や笛の吹き方を等基本的な当たり前のことを当たり前出来るようにして、しまったゲームになる様にします。

また、様々なハンドボールを研究・学習して、自分の中で引き出しを増やし、基準を作っていきたいと思います。

また、今大会は女性レフェリーも多く参加していました。まだまだ少ないですが、お互い意見交換等を行いながら、切磋琢磨してレベルを上げていきたいと思いました。

たくさんのゲームを、色々な方と吹かせてもらい、また見させてもらい、本当にいい経験になりました。今後の自分自身のレフェリングや情報共有を行い仲間とのレベルアップにつなげたいと思います。